

委員会審査概要

総務健康常任委員会

◆一般会計補正予算

予防接種委託料と予防接種負担金の補正は当初予算の不足分とのことだが、その理由は。

昨年末、国はワクチンの購入単価を3260円としていたが、今年2月に11600円程度に見直した。市が今年6月に徴取したワクチンの見積額は12100円であったため、これに手技料3575円を加えた15675円を1回あたりの接種費用として積算し、不足する額を補正するもの。

出産・子育て応援給付金の実績は。

妊娠届出の際に5万円、出産後に5万円を支給する事業

で、令和5年2月から事業を実施している。令和5年度の実績は、遡及対象者が出産81件、子育て51件、事業開始後は出産456件、子育て449件である。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

コンビニ交付サービス証明書等交付手数料を一律100円へと減額したが、利用件数とそれに対する評価は。

令和4年度10156通から令和5年は22755通と増加しており、証明書総交付数に占めるコンビニ交付数の割合が30%となった。身近なコンビニで証明書を発行できることによりマイナンバーカードによる利便性の向上についての周知にもなった。今

年10月から各種証明書が発行できるマルチコピー機を設置する予定。

賛成多数で可決



委員長報告を行う赤出川委員長

子ども教育常任委員会

◆一般会計補正予算

ICT教育推進事業の「心の健康観察」について、児童生徒からの相談への対応は出来ているが、内容ははっきり把握できていないとあった。

内容の把握は大事だと考える。先進地を視察するにあたり、この対応についてどう考えているか。

子どもたちがSOSを発信できる仕組みづくりが一番大事。その次にSOSに対して学校が組織的に対応することが大事だと考えている。事情に応じた対応が必要だが、先進地を視察しながら、研究を速めていきたい。

賛成全員で可決

◆一般会計決算

小中学校の不登校児童生徒数は令和元年度94名から5年度の227名と倍以上になっている。不登校児童生徒数の推移をどう考えるか。

不登校児童生徒数の増加は教育委員会としても危惧している。コロナ禍以降、様々

なことが変化し、教育委員会としても学校に対し様々な形で指導しているが、なかなか改善は見られない状況。

就学援助制度について、対象者が決まっているのだから、プッシュ型で扶助するということは考えないか。

現時点でプッシュ型の扶助については検討していない。全国を見ても申請の上で扶助をする制度設計がされている。そこを変えるという具体的な議論はしていない状況である。

吉川中学校の蔵書数について、学校図書館図書標準より約4千冊不足している。今後の計画について確認したい。

吉川中学校の蔵書数に関しては、令和6年度の予算から通常の予算にプラスして予算付けをし、図書標準まで10年ぐらいかかるところを半分程